

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%

保護者様： 18名回答、回答率 90%

職員の意見

○環境・体制整備

職員の人数は基準上を満たしているが、支援の中で人手が足りない事や女性スタッフが2名しかいないため女性の対応が難しいと感じることがあるとの意見が多く出た。一人で対応できる人数を増やせる様にしたり、女児対応ができる様スタッフ同士で協力している。送迎が広範囲になるためドライバーが休憩をとると児童を見守るスタッフが少なくなりやすい傾向以前より続いているが、声を掛け合って協力している。

落ち着かない時のクーリングスペースの確保が難しいが、本当に難しそう時には、声をかけスタッフルームで一緒に過ごし、切り替えができるようにしている。

○業務改善

送迎や日々の業務にほとんどの時間を割いているため、PDCAサイクルや質の向上に対する時間が充分にとれていない。研修の機会をとることも難しいが、管理者などが持ち帰った資料などは目を通して共有できるようしている。

自己評価の結果は、ホームページとニュースレターでの公開を行っている。

○適切な支援の提供

職員間の日々の打ち合わせや役割分担については、それぞれができることを少しずつ増やしており、密に話はできているとの意見が多かった。それぞれの職員が担当活動をもっているので、職員同士が共有する時間がさらに必要と考える。前後のミーティングの時間が難しく、課題ではあるが、より児童が興味・関心がもてる活動については、送迎中などで意見を共有することが増えてきた。

○関係機関や保護者との連携

関係機関については、関わるのが少ない職員もいるためどのような関わりがあるかを共有した。児童クラブについては関わるのが難しいが、地域の行事に参加することはできた。プラスの教室のためJrへの情報共有を大切にすることで移行へのアプローチを行っている。

○保護者への説明責任等

基本的な説明に関しては、日々しっかりと行えているが、緊急時なども去年よりはすぐに伝達していけるようにはなってきたとの意見がでた。地域へ開かれた教室としては、まだ課題があるが、児童の個人情報などを守りながらどう開かれていくのかを考えていきたい。

○非常時等の対応

ヒヤリハット・アレルギー対応など理解できているものは多くなってきたが、それぞれの立場で動ける幅も違い、どう役割分担をしてイレギュラーに対応できるようになるかは今後も課題として考えていきたい。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

概ね肯定的な評価だったが、保護者会や面談以外で来る機会が少ないためわからないという意見も多かったため、保護者様と児童と一緒に活動を行うなど工夫を考えていきたい。また、女性スタッフについては、希望の声もあったため本社と共に考えていきたい。

○適切な支援の提供

放課後等デイサービス計画については、すべてが評価が高かった。活動プログラムの工夫についても概ね肯定的な評価が多かったが、児童クラブとの関わりに関しては、あまり希望していないとの意見も聞かれ、現在関わりとしても難しいためどう関わっていくことがいいのかは、考える必要があり、なれていくことも必要なためスモールステップで進めていきたい。

○保護者への説明等

概ね肯定的な意見が多かったが、保護者会になかなか参加が難しいご家庭も多くどちらともいえないという意見も一定数あったため、教室の様子をどう理解してもらうかは考え、未回答などを減らしていきたい。日々の伝達については、概ね満足しているとの意見だったため、今後も続けていきたい。

○非常時等の対応

非常時の対応については、8割以上がはいと答えており、避難訓練など日々行われていることが保護者様にも伝わっているという結果になった。まだ一部どちらともいえないなどがあるため、保護者会や面談など保護者様と密に関わる際などにマニュアルなどについても理解を深めていきたい。

○満足度

子どもの満足度に関しては、ほぼ全員が楽しみにしているとの意見をいただけた。事業所の支援についても同様の意見をいただけた。児童が活動の様子を話してくれるなど連絡帳に書いていただけることも以前より増えてきているため、より沢山の児童が楽しみながら学べる活動などを増やしていくことで、満足度を高めていきたい。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

子どもが楽しみにしてくれる環境づくりや子供への共通理解・情報伝達・子供や保護者のニーズにあわせた客観的放課後デイサービス計画・除法共有への配慮などが強みとしてあげられる。

○改善点

教室のスペースの確保
女性スタッフの確保
活動プログラムなど日々の様子の共有
放課後児童クラブや児童館との交流



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・児童館や児童クラブとの交流の機会を増やしていくために、関わりの多い事業所などを参考にし、教室としての関わりを検討する
- ・地域の行事への参加
- ・児童が落ち着かなかった時のクーリング方法の検討
- ・保護者支援の向上

○1年間で取り組む具体策

- ・課外活動で地域のイベントに参加する
- ・新しい活動プログラムを増やし、沢山利用して下さるお子様も楽しめるよう活動の充実を図る
- ・児童館や児童クラブを見学し、関わりの多い事業所の話聞き、教室でできることを検討する
- ・保護者会などでの日々の情報共有・保護者参加型の活動を行う
- ・クーリングをする際の場所・ルールなどを定める

スマートキッズ